

# 平成21年度 1年間ありがとうございました!

## 例会日より (お別れ例会)



# 大自青季報

## 春 第8号



大阪自動車青年会議所  
<http://daijisei.com/>

平成22年4月1日発行

平成二十二年三月六日、七日に徳島県にてお別れ例会を開催致しました。

例会には、(社)徳島県自動車整備振興会青年部・EJクラブのメンバーが多数オブザーバーとして参加していただきました。

例会終了後、懇親会を開催し当クラブと徳島県のメンバーと円卓を囲み、意見交換を行い、信頼と友情の絆を深めることが出来たのではと思っております。

翌日はゴルフ組・徳島観光組に別れレクレーションを楽しみ有意義な一日を過ごすことが出来ました。

最後に、徳島県のメンバー様には、多数の例会出席をいただきました上、二次会、レクレーションの企画・運営までご尽力を賜りましたこと深く感謝致し厚く御礼を申し上げます。

また、当クラブが主幹として、平成二十二年の十一月に開催予定の近畿地区自動車青年協議会の合同例会には、多数のご出席を賜り、信頼と友情の絆をより一層深めることが出来ればと願っております。

## 大募集!! 平成22年度新入会員

大阪自動車青年会議所では我々と一緒になって活動していただける新入会員を募集しております。大阪府下で自動車整備を営んでいる方で、45才までの経営者もしくは経営幹部の方なら入会可能です。毎月一回例会を開催し、会社経営に関する事、整備技術に関する事、自己のスキルアップにつながる事など、同世代の仲間が集まって切磋琢磨しています。

あなたも是非この機会に例会に遊びに来てください。そして我々と一緒に活動しませんか。

お問い合わせは大阪自動車青年会議所事務局  
 社団法人 大阪府自動車整備振興会内 担当 宮城  
 TEL: 06-6613-1191 (振興会 代表)  
 ホームページアドレス <http://daijisei.com/>

## 例会だより (1月度新年例会、2月度例会)

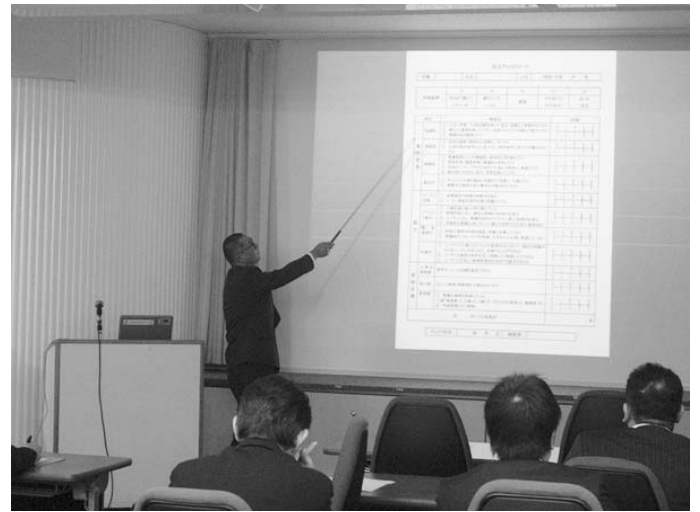
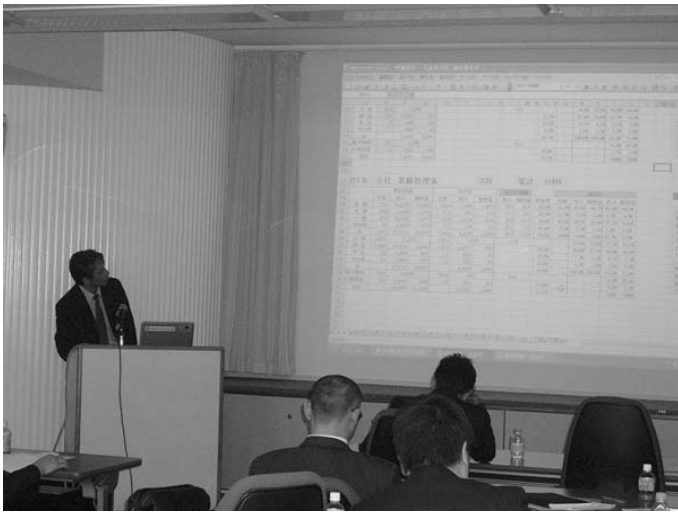


平成二十二年一月八日 大阪なんばの蓬莱パンチャンにおきまして、新年恒例となりました「新年例会」が行われました。

OBの先輩方も交えて新年のあいさつを交わす、今年最初の例会。前川会長の新年への力強いあいさつの後、和やかに開会されました。おいしい中華料理のコースに舌鼓をうち、メンバーの親睦が図られました。後半のエンターテイメントでは有名マジシャンのリッキー・アイさんが登場。イリュージョンの世界へと我々を誘ってくれました。各テーブルを回つてのカードマジックも披露されましたが、目の前で見ていても最後までタネはわかりませんでした。

今年も先行き

の见えない景況感が漂ったスタートですが、こうして大自青の仲間、先輩方と交流することで元氣になり、さあ今年もやるぞと勇気をいただいた例会でした。



2月度例会が平成二十二年二月四日(木)たかつガーデンにて開催されました。

2月度例会は経営委員会が担当しており、「あなたは社員の適正評価と経営分析ができていますか？」をテーマに、委員会メンバーが一年間勉強してきたことを発表していただきました。

「メカニックチェックシートと目標達成チェックシート」の使い方と意義、「社員を伸ばす言葉とダメにする言葉」と題した上司と部下とのコミュニケーション術や、自社の経営状態を分析し、今後の経営体質の強化の策定できる「経営分析診断ツール」、そして自整業でも申請しやすい「助成金制度について」を発表していただきました。

一年間、委員長をさせていただき色々勉強させていただきましたが、経営者として少しは成長できた一年になったかな、と感じております。



# 近畿地区自動車青年協議会 視察旅行報告



平成22年2月10日(水)11日(木)に愛知県名古屋市内において近青協情報委員会研修旅行に行っていました。

「今こそ更なる情報交換と仲間作り」をテーマに兵庫、滋賀、京都、大阪からそれぞれ集まり10日の晩、懇親会で親睦を深めました。

11日午前、熱田神社を参拝し、昼は蓬萊軒のひつまぶしに舌鼓をうちました。午後からはトヨタ博物館で車の歴史や車を作る人の熱意や努力にとっても心打たれる思いでした。

2日間という短い間ではありましたが、普段大阪にいてなかなか知ることのできない他府県での車の整備事情や販売事情など知ることができ更なる情報交換と仲間作りというテーマにおいてとても中身の濃い2日間に感じました。

## 特別寄稿 其の1

### ～「私と大自青」第4回～



森内克行 会員

#### 平成8年入会 森内克行

平成8年に入会させていただいて、平成17年に第32代目会長をさせていただきました。今年で早14年目となります。

入会当初は、どんな会なんだろうという感じで適当に参加していればいだろうと思っておりました。そんな心構えで参加しておりましたが、徐々に色々な仲間ができ、先輩にもご指導いただき、会の組織運営の役も与えていただくようになりました。

役をするというのは、初めは、その責任そして自社の仕事との両立をしなければならぬので抵抗がありましたが、普段自社では経験できない事や人との繋がりを築けた事は、今となっては大きな財産です。

確かに組織運営の役は色々な苦勞や時間がとられますが、その中で助けていただける仲間や先輩と大自青活動を全うした時は自分自身のスキルアップになり、いい思い出になったと思います。

経験させていただいて言えるのは、役員になって学ぶこと経験できることは大自青のメリットでもあり他団体ではできない事なので、一人でも多く役員、副会長、会長といった役職を経験していただきたい。

私は、普段自社で仕事をしている中で、例会や委員会に出席し、そこでの情報や勉強、そして終わってからの飲み会での活動以外での色々な情報や繋がりは私自身いい刺激になり、また次の日の仕事の活力ができると思います。

私が会長をさせていただいた時は幸いサポートしていただけるメンバーが多く、すごく助けていただきました。しかし今の現状は40歳前後の会員が多く、25～35歳のメンバーがいない状況なので、その年代の新規会員に一人でも多く入会していただき今後の大自青活動の基盤を強くしていかなければならないと思います。

私は会長を経験し一通り役を終えたからといって、もう役目は終わったというのではなく、私自身が成長できお世話になった大阪自動車青年会議所という伝統ある会議所を後輩のメンバー達がよりよい環境で活動できるように卒業までの残り4年間を精一杯努めていこうと思っています。

## 特別寄稿 其の2

## 平成21年度 1年間を振り返って

平成21年度 会長 前川彰博



前川会長

平成21年度を振り返りまして、年度スローガン「意志を貫く～時代を熱く～」をテーマに総務委員会・経営委員会・情報委員会の3委員会を組織し活動してまいりました。

40歳を迎え社内交代の命を受け、同時に大阪自動車青年会議所(大自青)の会長職の任を預かり、私生活では子供が1人増えるというおめでたい事づくしでしたが平成21年度は私自身にとって公私共に大変な1年となりました。

そんな私でも伝統ある大自青の会長職を賜り、1年間という任期を無事満了出来たのは先輩諸兄、会員メンバーの支え、自社の従業員の協力、それに加え家内の理解があったからだと思います。

まず初めに言える事は、ただただ「感謝!」です。

約1年前、会長職を受けるにあたり相談させて頂いた方々に「苦労は自分からかってでるものや」「貴方に課せられた試練や」等と言われ半ばやけ気味に引き受けたのを思い出します。実際、あっという間の1年間で思いの半分もできたかどうか…。時間を少しとられるのは事実ですが、それ以上に掛け替えのない物を得られ、貴重で良い経験が積めたのも事実です。私自身、非常に勉強になりスキルアップさせて頂きました。1年間の事業計画を企画立案し、予算を決め、委員会ごとに目標を持ち活動していくという大自青運営ですが、会社経営に似た訓練の場所であると考えます。

大自青は他府県の自動車青年会議所との深い繋がりもあり、交流を図る事により、様々な情報交換ができ、自社の経営にもフィードバックできる、組織というものを学ぶには最高の場所だと断言できます。

同じような、経営スタイルで自整業をされている方の意見を本音で聞く事ができるのも大自青です。

新年度は直前会長という立場で当会を支え、皆様方に恩返しをさせて頂きたく、今まで以上に全力で大自青活動に励み、意志を貫き通します。

最後となりますが、関係官庁、関係諸団体並びに諸先輩方に頂戴致しました、ご指導ご鞭撻、会員諸兄の絶大なるご支援、ご協力を賜りました事、心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

## 総務委員会の部屋(最終回)

## 「恩師」

総務委員会 中嶋 秀治

私事ですが先日、高校時代の部活仲間である監督が来られました。飲み会があり、初めて恩師である監督が来られました。

初めは高校時代のイメージもあり緊張しましたが、時間が経つと徐々に緊張も解け、先生の私たちが知らなかった苦労話を聞かせてもらいました。その中で一番印象に残ったのが、総勢160名ほどの部員をまとめ全国大会へ出場させると言った目標を掲げ、私たちの練習のレベルを上げるための環境作りに関わる事でした。公立高校でしたので部活の予算も少なく、一度の合宿となると莫大な予算が必要となりました。練習道具など設備を整える為、OBや関係者に寄付をお願いしに頭を下げて回った話など聞かせてもらいました。そのおかげでこれだけの人数が最新の設備でレベルの高い練習ができ、少ない部費で全国大会に出場することが出来ました。

私もそこで自分の会社の事を考えた時に、そこまで職場の環境作りに入れているのかあらためて考えさせられました。やはり高い目標を掲げた時に、それに伴って会社として出来る限りの社員の皆さんが働きやすくモチベーションの上がる環境を作るのが、経営陣の一人としての重要な仕事であり、結果会社の業績にも大きく影響するのではないかと感じました。

最後に、監督はもう現役を引退されていましたが、



「わしは今でも現役に戻つたら弱小チームでも数年後には全国レベルのチームを作る自信はある」と言う監督の言葉に感動し、大きな刺激を受けました。